

成長と革新 飛躍する山梨県企業

エノモト 金型加工・品質管理に強み



21年に増床した津軽工場（青森県五所川原市）

エノモトは主にリードフレームやコネクタ用部品の製造を手がける。金型製作からプレス、メッキ、樹脂成形といった重産工程まで一貫生産体制を構築。リードフレームはトランジスタをはじめとしたパワー半導体やLEDなどのオプトデバイスに使用。コネクタ用部品はスマートフォンやウェアラブル端末といった情報通信機器・自動車部品に使われている。

1962年の創業以来培った金型加工技術と生産技術、品質管理能力が強み。国内に4工場（山梨県、青森県、岩手県と海外（中国、フィリピン）に生産拠点を持つ。2021年、青森の拠点を約2倍に増床。23年には中国拠点のメッキ工程を増強した。既存事業に加え、山梨県・山梨大学と燃料電池向け部品の研究開発を進めており、最先端分野への挑戦を続けることで、さらなる成長を目指す。

ササキ 宮城に新棟 生産体制強化



半導体市場の拡大に対応する（宮城本部新棟、イメージ）

ササキ（山梨県韮崎市、佐々木啓二社長）は、ワイヤハーネス（組み電線）製造・電子機器組立を手がける。半導体市場の拡大に対応した生産体制の強化をはじめ、人材雇用や3カ年計画での賃率アップを目的とした設備投資を積極的に行っている。

こうした中、宮城本部（宮城県大和町テクノビルズ）で「宮城本部新棟」建設を計画。着工した。新棟は2階建て、延べ床面積1万377.6平方メートル。2026年6月に完成、同8月の稼働を予定している。新棟が稼働することで自動倉庫を活用したケーブル払い出し簡素化や在庫管理の効率化、ロッタリーストック導入によるDX推進、生産工程のライン化による増産体制が図れる。なお、宮城本部の敷地内には25年4月、257台が収容可能な立体駐車場も完成している。

メイコー 国内最大級 クリーンルーム



国内最大級のクリーンルーム棟を備える

メイコー（山梨県甲斐市、上野慶太社長）は、半導体・液晶、二次電池関連企業を主要顧客とし、真空・プラズマ技術を活用したOEM生産やODMをメインに手がける。8棟ある工場のうち、4棟がクリーンルームとなっている。このクリーンルーム棟は全長200以上の国内最大級を並列に配置、装置開発から設計・製造、梱包・出荷まで一貫して行える。また、5軸マシニングセンターなどの大型機械を駆使した機械・部品加工や熟練工による精密溶接も強い。

自社製品は真空乾燥炉やプラズマ発生装置などを展開。燃料電池分野では、触媒層の形成を目的とした静電塗工装置を市場投入した。現在は機能性を絞った小型・低価格化したモデル「MES-Lab. RDE」を大学・研究機関などに訴求することも、今後は量産向け装置の受注につなげていく計画だ。

グリーン水素を地産地消

山梨県には優れた技術・製品を持つ企業が集積している。県内は豊かな自然に恵まれ、水素・燃料電池といった次世代エネルギーシステムの研究・活用が進む。中央自動車道や中部横断自動車道を利用した首都圏・中京圏への交通アクセスが良好で、有感地震が少ない点などからバックアップ拠点の候補地としても最適だ。県内製造業は需要の増減に対応できるよう、強固かつフレキシブルな生産体制を構築。新たな事業展開を見据え、成長と革新を続ける県内企業を紹介する。

山梨県は水素・燃料電池証が行われ、グリーン水素関連産業の振興、研究開発の地産地消モデルを形成する先進地といっている。そうした中、県は水素・燃料電池関連を成長産業と位置付け、企業誘致を積極化している。企業誘致に関する「長崎幸太郎知事は「県民が水素社会をけん引している」という自信を持ち、水素関連事業を歓迎する機運がある。これは新事業を行う上で恵まれた環境だと訴求する。

実証 — 実装 サイクル短縮



すると決めた。28年度中の操業開始を計画している。同社は新工場を国内マザー

カナデビアは山梨県都留市に水電解スタックの量産工場を新設する（立地協定締結式。左から長崎幸太郎知事、桑原道夫カナデビア社長、堀内富久都留市長）

工場とし、これを起点に水素発生装置の製造拠点を順次展開していく考えだ。新工場の立地について長崎知事は「（水素・燃料電池分野で）充実した研究環境が整った本県に、量産という新たなピースが加わる。実証から実装へのスピードが加速する」と期待を込めた。P2Gシステムに、同社のスタックが使われており、量産により製品価格が下れば、同システム普及・実装のさらなる追い風になる。

経営者層に実践教育

人材養成講座「事業化コース」

成長産業への参入促す

山梨県は成長産業の育成や県内企業の参入を支援すると同時に、社会人技術者を対象に必要な技術・知識を習得する機会を提供してきた。この「人材養成講座」は医療機器産業分野を15年に、水素・燃料電池産業分野を16年に開講。24年度までに両分野合わせて324年度からはこうした人材養成講座に「事業化コース」を設け、経営層を対象に実践的な教育を始めた。県内企業の経営者が企画提案力や戦略立案能力を磨くことで、成長産業への新規参入を加速させることが狙いだ。人材教育の充実化が両産業の理解度向上につながり、企業の新規参入意欲を高めている。

80人超の修業者を輩出している。修生の活動も活発だ。医療機器分野では「山梨医療機器研究会」を立ち上げ、製品の共同開発などに取り組み、水素・燃料電池分野においても「やまなしHFC（Hydrogen Fuel Cell）研究会」を設立。継続的な情報交換の場となっている。同講座が企業・技術者をつなぎ、コミュニティ形成にも役立ってきた。

燃料電池用触媒層形成に用いる「静電塗工装置」

-ElectrostaticSpray Device- for FuelCells Catalyst Coated Membrane

研究開発用途向け静電塗工装置 MES-Lab. [MEIKO ElectrostaticSpray for Laboratory]

- 特徴
- ・高電圧とサックバック圧力の制御により最適な液滴形状を維持
- ・100×100サイズ程度の触媒膜を塗工可能
- ・XYステージ搭載
- ・マルチノズル搭載可能

電気化学測定用の回転ディスク電極向け静電塗工装置 MES-Lab.RDE [MES-Lab. for RDE]

- 特徴
- ・シンプルな操作性
- ・ローコスト
- ・AC100Vで動作
- ・RDE電極に合わせたカスタマイズ
- ・卓上サイズ
W560×H630×D550



株式会社メイコー

〒400-0105 山梨県甲斐市下今井732
TEL:0551-28-5111 FAX:0551-28-5121
E-mail:eigyo-mws@meiko-inc.co.jp URL:https://www.meiko-inc.co.jp/



ウェブでニュースは
いかがですか？



ニュースイッチ
NEWSWITCH

http://newsswitch.jp/

■ ニュースイッチとは？

日刊工業新聞社のニュースをはじめとするコンテンツを、もっと新鮮に、親しみやすくお届けするサイトです。少し硬い、難しいニュースをわかりやすく、または詳しく、話題のニュースから、小さいけれども面白いニュースを幅広い読者へ、そしてニュースを起点に、コミュニティを少しずつ作っていただけると考えています。

■ 独自のテーマ

ニュースイッチ編集部が独自に企画・取材した特集記事をはじめ、新聞とは一味違う切り口でニュースをお伝えします。

■ 記者が記事選定・コメントをプラス

日刊工業新聞の記者がテーマごとに気になる記事を紹介、コメント。記事や取材背景を解説します。

あなたを
どこかで支えてる。

エノモトの精密部品

■本社・営業部

■技術部

■本社工場（塩山）

■本社工場（上野原）

■津軽工場

■岩手工場

山梨県上野原市

山梨県甲州市

山梨県甲州市

山梨県上野原市

青森県五所川原市

岩手県上閉伊郡大槌町

株式会社エノモト

上野原市上野原8154-19

TEL.0554-62-5111

エノモト

検索

クリップ

30 Years of Innovation,
Infinite Possibilities.

ハーネス・ケーブル製造 電子機器組立

SASAKI

株式会社ササキ

https://sasaki-inc.co.jp/

山梨本部

〒407-0175 山梨県韮崎市穂坂町宮久保1155-1

TEL.:0551-22-3733 / FAX.:0551-30-2266

宮城本部

〒981-3629 宮城県黒川郡大和町テクノビルズ2-2

TEL.:022-346-1511 / FAX.:022-346-1512